

「みんなの尼崎大学」についての考え方(素案)に対する パブリックコメント募集結果

寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
1	<p>兵庫県行政書士会として、地域創生を重点取組に位置づけており、背景や問題点について、地域課題を共有するとともに、地域の活力等の自治力を身につけることは有効であると思料します。</p> <p>今後、地域の課題解決力が高まってきたことをどのように繋げ、それを「見える化」して、評価していく仕組みづくりが重要であり、そのことが、継続した励みにつながると思料します。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>「みんなの尼崎大学」は、まちのあちこちにある学びの場、人、活動が楽しみながら連携する中、地域の課題解決力が高まっていくことを目指すものです。</p> <p>多くの皆さんの参画を得ながら、取組を進める中で、ご意見のような評価の仕組みについても、検討してまいります。</p>
2	<p>市民の皆様へ行政書士制度普及のための市民講座、無料相談会や法教育の実施も対象範囲であると理解しますので、施策の目的に沿って活用いたします。</p> <p>また、大学にも他のキャンパスや通信教育などがあるので、尼崎市周辺や国、県などの活動を対象範囲としてとらえることも必要と思料します。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>「みんなの尼崎大学」は、多様な人材が学びを通して出会い、互いに刺激を受け、新たな一步を踏み出す中、尼崎に人材・活動・知識が集積していくことを目指すものであり、市内における活動が対象となりますが、ご意見のように国、県などとの連携等については、必要に応じて、取り組んでまいります。</p>
3	<p>みんなの尼崎大学キックオフフォーラム「みんなの尼崎大学 はじまるの会！」における参加者アンケート内容など意向調査の公表もあればありがたいです。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>参加者アンケートで寄せられたアイデア等については、ホームページで公表します。</p>
4	<p>具体的な施策の取組や周知において、行政書士等の法律専門職及びその団体の参画や活用も視野に入れて、構築いただきたい。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>地域を支える人材が育まれる環境をつくっていくという目的を踏まえる中、学びに関わる様々な主体が連携することができるよう、取組を進めてまいります。</p>

5	<p>平成29年4月開学ですので、早期にカリキュラムの申込み要項ならびに貴市の他の施策と連動するような申込み要項等を公表する必要があると思料します。</p> <p>また、参考として現行施策と連動する取組があれば、公表をお願いします。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>「みんなの尼崎大学」は、行政だけで作り上げるのではなく、考え方を共有した上で、多くの皆さんの理解と参画を得ながら、取組を進めていく中、開学後も充実を図ってまいります。</p> <p>現時点で、ご意見のような事例はありませんが、施策と連動した取組や、参画に当たっての申込み要項等について検討してまいります。</p>
6	<p>学びの検索サイトですが、「尼崎市ホームページイベント・講座カレンダー」及び「市民活動の広場あまがさきイベントカレンダー」が既に動いており、市民の税金をさらに使うのであれば、独自性とそのすみわけが調整されるべきです。「みんなの尼崎大学」の独自性として、「学部、学科のカテゴリーのユニークさ」が挙げられると思いますが、親しまれるには少し時間がかかると思われます。</p> <p>検索される講座の記事としては、一つにたくさんの入力項目があるので、たくさんのイベントを紹介するにはかなりの人力が必要です。6公民館、6地区会館、図書館などの職員に入力義務を負ってもらえば強力なデータベースができますが、どうでしょうか。</p>	1	<p>[すでに盛り込み済み]</p> <p>学びの検索サイトは、市内に多くある学びの情報について、分野や段階に分類し、カレンダー表示による検索だけでなく、開催場所やフリーワードでも検索できる機能を有しています。</p> <p>また、講座内容等のデータ入力、講座等の主催者である各公民館を含む各課が行うこととしております。</p>
7	<p>学びの検索サイトで、「あまナビ」などの発行冊子(教科書と位置付ける)の紹介をしてはどうでしょうか。たくさんの貴重な、勉強になる冊子が作られています。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>学びの検索サイトは市内の学びの情報を一元化するウェブサイトとして、「あまナビ」などの発行冊子のサイトへリンクを張ることについて検討してまいります。</p>
8	<p>公民館は教育委員会管轄、地区会館は地域振興センター管轄など縦割りでの管理を打破しないと「連携強化」はできないと思います。思い切った横割りの連携の具体策の提案が必要です。</p> <p>旧聖トマス大学の部屋に「みんなの尼崎大学本部・教務部」をおいて人員を民間から配置し、縦割り打破に動いてはどうか。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>地域では、行政の組織にかかわらず、生活の中で全分野が関連する中、地域の課題解決に当たっては、ご意見のように、組織の縦割りにとらわれることなく、行政内部の連携を一層密にすることが重要です。</p> <p>そうした中、平成29年4月より「みんなの尼崎大学」の事務局をあまがさき・ひと咲きプラザ(旧聖トマス大学)内に設置し、学びに関連する各課の連携が一層進むよう、調整役として取組を進めるとともに、民間の方の事務局への参画についても検討してまいります。</p>

9	<p>すでに準備されているとは思いますが、月に1回程度の6公民館+6地区会館+数か所の担当者会議(職員会議)を持って具体的な連携を図ってください。</p>	1	<p>[すでに盛り込み済み]</p> <p>公民館や地区会館をはじめ、講座等を実施している各課の職員等が、情報共有や意見交換を行う職員会議を月1回程度で開催し、その中で、互いの強みなどを持ち寄り、課題の解決につなげるなど、具体的な連携を図ってまいります。</p>
10	<p>市内には テーマを追ってきた100のNPO法人、500を超す市民活動団体があり、どれもが大学の講座内容やセンセイになれるものです。</p> <p>目新しい斬新なテーマ・場所を追うだけではいずれ閉じていくことになりはしないでしょうか。「講座科目」として、既存の市民活動を年次計画的に取り入れてはどうでしょうか。その際、テーマごとに集結すると魅力あるものを市民に提示できると思います。</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>「みんなの尼崎大学」では、NPO法人や市民活動団体等、学びに関わる各主体が連携することは不可欠であると考えており、取組を進めるに当たり、より連携・協働できる関係づくりに努めていくこととしております。</p> <p>そうした中、高齢者、障害者福祉や環境といった、テーマが共通する講座をまとめて情報発信することについても検討してまいります。</p>
11	<p>公民館講座などがその公民館だけに終わるのはもったいないと思ってきました。最近講師の相互紹介などが進んでされているように見受けられます。2年間行われてきた「みんなのサマーセミナー」にもその先見性に魅かれて多くの市民やNPOがセンセイに名乗りを上げています。</p> <p>現在の検索サイトを拡張して、講師への登録を受けて、あらゆる分野の講師が紹介できるような仕組みを作り上げてはどうでしょうか。民間と行政との協働事業として、信頼性も高まると思われま</p>	1	<p>[意見を参考とする]</p> <p>学びの検索サイトの拡張については、費用等の面で困難な部分はありますが、ご意見のような、講師の登録や紹介につきましては、当面は「職員会議」や「オープンキャンパス」の場を通じて行いますとともに、仕組みづくりにつきましても、検討してまいります。</p>